



# 財政の"過去"、"現在"、"未来" 北上市の経営改革の成果報告

平成23年度から30年度まで、歳出の削減と歳入の確保の両面で経営改革に取り組み、当時見込んでいた財源不足を回避することができました。市民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

これまでの取り組みを振り返りながら、経営改革の成果を報告します。 (問) 財政課 ☎72-8249

## 経営改革に至る経緯

経営改革以前の市の財政状況は、国の三位一体改革の影響を受け、平成12年度に91億円あった普通地方交付税が、平成19年度にはおよそ半分の46億円にまで落ち込むなど極めて厳しい状況に直面しました。また、平成19年度に財政健全化法が制定され、普通会計と特別会計、企業会計を合わせた連結で自治体財政の健全性が判断されることになりました。

## 経営改革の必要性

平成19年度の市の連結会計の状況(普通会計と、国民健康保険や工業団地事業などの特別会計、下水道会計などの公営企業会計も合わせた全体の状況)は、24億円もの赤字となりました。当時全国約1800自治体のうち、連結赤字だったのは当市を含めた71団体でした。また、平成22年度に作成した平成30年度までの財政見通しでは、一時的ではない収支不足が見込まれ、何の対策も取らなければ財源不足に陥る予測でした。さらに、北上地区広域土地開発公社が抱えていた96億円超の負債をはじめ、先送りできない課題もあったことから、それらを解決し、持続可能なまちづくりを進めるため、経営改革に取り組む必要がありました。

## 取り組み内容

経営改革では、歳出削減と歳入確保の両面から取り組む必要があったため、左のページに示す6項目に取り組みました。

市民生活に直結する項目が多く、市民の皆さんに負担をお願いしてききましたが、どの項目も将来にわたる安定的な行政サービスを続けるために欠かすことができないものでした。

## 成果

取り組みの中で歳入確保に大きく寄与したのは市税の税率改定でした。法人市民税と固定資産税の税率を引き上げ、7年間で43億2000万円余りの増収となりました。経営改革の終了により、引き上げていた税率は元に戻しています。

その他、市の施設の廃止や使用料の改定、補助金などの見直しなどによる効果を合わせるとトータル49億9000万円の効果となりました。

その結果、心配されていた財源不足を回避することができました。

また、経営改革以外の要因として、想定していなかった国からの交付金(経済対策の臨時交付金や震災復興特別交付税)があったことも、財政状況の改善につながりました。

# 経営改革の要点

これまでの  
取り組み  
内容

## 歳出(支出)と歳入(収入)を見直しました

### 歳出削減

- ①市の施設の見直し : 31施設の廃止や地元移管
- ②補助金などの見直し : 76の補助金の廃止など

### 歳入確保

- ③市税税率の改定 : 法人市民税と固定資産税の税率引上げ
- ④施設使用料の見直し : 原則としておおむね1.5倍に引き上げ
- ⑤減免規程の見直し : 公共施設の統一的な減額・免除規程の新設

### その他

- ⑥土地開発公社の清算 : 北上地区広域土地開発公社の負債の計画的解消

※引き上げた市税税率は従来の税率に戻しています



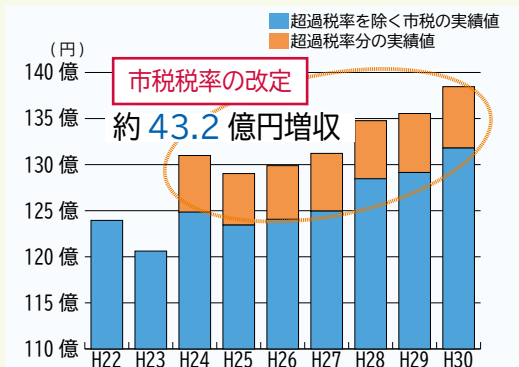
取り組みの  
成果

## 収支バランスを改善し、財源不足を回避できました

歳入増加と歳出削減で、約**49.9**億円分の財源を創出

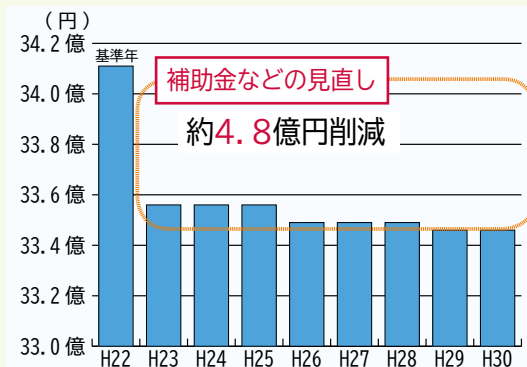
歳入増加 約**43.0**億円増

【内訳】市税税率の改定 + 43.2億円  
その他 - 0.2億円



歳出削減 約**6.9**億円減

【内訳】補助金などの見直し - 4.8億円  
市の施設の見直し - 2.1億円



解決した  
課題

## 借入金の返済に 充てました

各年度の繰上償還額 (償還: 負債を返済すること)

	繰上償還額
平成24年度	2億4,500万円
平成25年度	3億3,000万円
平成26年度	19億1,100万円
平成27年度	6億8,100万円
平成28年度	3,400万円

今後の  
展望

## 健全な財政運営を進めます

令和6年度には、収支が改善する見込みですが、今後5年間は支出が増えるため、市は今後も健全な財政運営を進めます。

今後5年間の  
大きな支出

- 小学校の整備
- 公共施設の長寿命化
- 道路などのインフラや、新健康管理・子育て複合施設の整備など

令和6年度には企業誘致による税収増によって収支改善が見込まれていますが、経営改革終了後も健全な財政運営を進め、安定した経営により市民福祉の向上に取り組みます。

今後5年間の財政見通しは、令和5年度までは歳出超過による基金を取り崩しての財政運営を見込んでいます。また、今後数年間は複数の小学校整備などを行うほか、公共施設の長寿命化にも取り組むため、必要な費用は多額になると見込んでいます。

### 今後の展望

多額の負債があった北上地区広域土地開発公社を清算する際に借り入れた第3セクター改革推進債は、南部工業団地などの分譲が順調に進んだことにより、毎年の返済計画に乗せして32億円以上を繰り上げて償還することができました。

経営改革の期間中に、市税の伸びによる財源を活用して特別会計(工業団地事業、宅地造成事業)の繰上充用を解消することができました。繰上充用とは、その年度に不足した歳入を翌年度の歳入から穴埋めするものです。また、下水道事業の借入金も解消することができました。

### 解決した課題